

放課後等デイサービス 事業所における自己評価結果(公表)

公表:令和02年 3月 1日

事業所名 スタジオそら用賀

		チェック項目	はい	どちらともいえない	いいえ	課題や改善すべき点を踏まえた改善内容又は改善目標
環境・体制整備	①	利用定員が指導訓練室等スペースとの関係が適切であるか	6	2	0	利用定員は法令上は適切であるが、同時時間帯の利用人数によって狭く感じることもあるため、効率的な活動が行えるよう、引き続き、支援の充実化を図る。
	②	職員の配置数は適切であるか	3	4	1	法令上の配置数は満たしている。
	③	事業所の設備等について、バリアフリー化の配慮が適切になされているか	2	5	1	スタジオが2階にあるためバリアフリー化は難しいが要望があれば検討していく
業務改善	④	業務改善を進めるためのPDCAサイクルに広く職員が参画しているか	7	1	0	目標設定や振り返りのチェック等の強化が必要。
	⑤	保護者向け評価表を活用するため等によりアンケート調査を実施して保護者等の意向を把握し、業務改善につなげているか	7	1	0	保護者のニーズをしっかりと把握し、改善できることはできるだけ早く対応し改善していく
	⑥	この自己評価の結果を、事業所の会報やホームページ等で公開しているか	7	1	0	引き続きホームページ上で会報や自己評価の結果を公開していく
	⑦	第三者評価による外部評価を行い、評価結果を業務改善につなげているか	0	2	6	現在は行われていないが行うように検討していきたい
	⑧	職員の資質の向上のために、研修の機会を確保しているか	5	3	0	内部研修だけでなく外部研修にも積極的に参加出来るよう調整していく
適切な支援の提供	⑨	アセスメントを適切に行い、子どもと保護者のニーズや課題を客観的に分析した上で、放課後等デイサービス計画を作成しているか	6	2	0	引き続き支援の充実化を図っていく
	⑩	子どもの適応行動の状況を図るために、標準化されたアセスメントツールを使用しているか	5	3	0	引き続き支援の充実化を図っていく
	⑪	活動プログラムの立案をチームで行っているか	7	1	0	事前の打ち合わせで個別に目標を確認し立案している。子どもたちが分かりやすく楽しめるプログラムを引き続き考えていく
	⑫	活動プログラムが固定化しないよう工夫しているか	7	1	0	個別の目標を確認しつつ固定化されないように注意し楽しめるようなプログラムを考えていく
	⑬	平日、休日、長期休暇に応じて、課題を決め細やかに設定して支援しているか	7	1	0	休日におおぞら療育を実施し、長期休暇ではその他余暇活動も取り入れている。引き続き、支援の充実化を図る。
	⑭	子どもの状況に応じて、個別活動と集団活動を適宜組み合わせ放課後等デイサービス計画を作成しているか	8	0	0	引き続き支援の充実化を図っていく
	⑮	支援開始前には職員間で必ず打ち合わせをし、その日行われる支援の内容や役割分担について確認しているか	8	0	0	引き続き支援の充実化を図っていく
	⑯	支援終了後には、職員間で必ず打ち合わせをし、その日行われた支援の振り返りを行い、気づいた点等を共有しているか	8	0	0	毎日終礼を行い、振り返りやヒヤリハットの確認などを行なっている。また、ご家族からの情報や子どもの様子などを共有している
	⑰	日々の支援に関して正しく記録をとることを徹底し、支援の検証・改善につなげているか	8	0	0	記録の書き方の研修を行うなどして書き方の統一を心掛けている。引き続き支援の充実化を図っていく
	⑱	定期的にモニタリングを行い、放課後等デイサービス計画の見直しの必要性を判断しているか	7	1	0	引き続き支援の充実化を図っていく
	⑲	ガイドラインの総則の基本活動を複数組み合わせ支援を行っているか	7	1	0	引き続き支援の充実化を図っていく

放課後等デイサービス 事業所における自己評価結果(公表)

公表:令和02年 3月 1日

事業所名 スタジオそら用賀

		チェック項目	はい	どちらともいえない	いいえ	課題や改善すべき点を踏まえた改善内容又は改善目標
関係機関や保護者との連携	20	障害児相談支援事業所のサービス担当者会議にその子どもの状況に精通した最もふさわしい者が参画しているか	6	2	0	引き続き支援の充実化を図っていく
	21	学校との情報共有(年間計画・行事予定等の交換、子どもの下校時刻の確認等)、連絡調整(送迎時対応、トラブル対応)を適切に行っているか	6	0	2	保護者を通じて情報共有を行っていく。積極的に近隣学校と適切な情報共有や連絡調整の実施を図る。
	22	医療的ケアが必要な子どもを受け入れる場合は、子どもの主治医等と連絡体制を整えているか	2	0	7	主治医の把握はしている。医療ケアが必要な子どもの受け入れは行っていないが、緊急時にも役立つことも多い研修などには参加する体制を作っていく
	23	就学前に利用していた保育所や幼稚園、認定こども園、児童発達支援事業所等との間で情報共有と相互理解に努めているか	2	2	4	保護者要望に応じて適宜共有を実施しているが、一部児童に限定されているため積極的な連携強化を図る。
	24	学校卒業し、放課後等デイサービス事業所から障害福祉サービス事業所等へ移行する場合、それまでの支援内容等の情報を提供しているか	1	4	3	まだ該当者はいないが、スムーズに移行できるように書類の作成などを行っていく
	25	児童発達支援センターや発達障害者支援センター等の専門機関と連携し、助言や研修を受けているか	0	5	3	支援計画更新のタイミングで情報共有をしている。研修の実施や施設の見学など積極的に行う
	26	放課後児童クラブや児童館との交流や、障害のない子どもと活動する機会があるか	0	2	6	インクルーシブの観点からも必要なことが考えられるが、現状ではニーズがないため行っていない。障害や個性や特性について理解を深めてもらうために行っていく
	27	地域自立支援協議会等へ積極的に参加しているか	2	3	3	相談事業所からお誘いがあれば参加はしているが、数は少ない。他事業所との連携や情報交換も今後の課題と思われる
	28	日頃から子どもの状況を保護者と伝え合い、子どもの発達の状況や課題について共通理解を持っているか	8	0	0	引き続き支援の充実化を図っていく
	29	保護者の対応力の向上を図る観点から、保護者に対してペアレント・トレーニングなどの支援を行っているか	3	1	4	ペアレント・トレーニングは行っていない。毎回フィードバックは実施している。研修への参加・講演会等の企画を検討する。
保護者への説明責任等	30	運営規定、支援の内容、利用者負担について丁寧な説明を行っているか	7	1	0	契約時に行っている。引き続き丁寧に分かりやすく説明を行っていく
	31	保護者からの子育ての悩みなどに対する相談に適切に応じ、必要な助言と支援を行っているか	7	1	0	面談室も新しくなり、積極的に面談を行っていく
	32	父母の会の活動を支援したり、保護者会等を開催することにより、保護者同士の連携を支援しているか	0	2	6	ニーズが無い為実施していない。必要に応じて機会の確保を検討する。
	33	子どもや保護者からの苦情について、対応の体制や整備するとともに、子どもや保護者に周知し、苦情があった場合に迅速かつ適切に対応しているか	7	1	0	引き続き支援の充実化を図っていく
	34	定期的に会報等を発足、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報を子どもや保護者に対して発信しているか	8	0	0	引き続き支援の充実化を図っていく
	35	個人情報に十分注意しているか	6	1	1	鍵のついたキャビネットを使用し個人情報の扱いに注意している。スタッフ間の話の中でも留意していく
	36	障害のある子どもや保護者との意思疎通や情報伝達のための配慮をしているか	7	1	0	引き続き支援の充実化を図っていく
	37	事業所の行事に地域住民を招待する等地域に開かれた事業運営を図っているか	2	1	5	そらコンサートなど行っているが、地域の方達にどういった事業所なのかは周知されていないため、催し物などを検討していきたい

放課後等デイサービス 事業所における自己評価結果(公表)

公表:令和02年 3月 1日

事業所名 スタジオそら用賀

	チェック項目	はい	どちらともいえない	いいえ	課題や改善すべき点を踏まえた改善内容又は改善目標
非常時の対応	③⑧ 緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアルを策定し、職員や保護者に周知しているか	7	1	0	保護者への周知を強化していく
	③⑨ 非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出、その他必要な訓練を行っているか	8	0	0	何度も避難訓練を行っているが、全員が参加することが難しいため避難訓練のお知らせや避難訓練の様子などを新聞に張り出すなど保護者への周知を強化する
	④⑩ 虐待を防止するため、職員の研修機会を確保する等、適切な対応をしているか	6	1	1	引き続き支援の充実化を図っていく
	④⑪ どのような場合にやむを得ず身体拘束を行うかについて組織的に決定し、子ども・保護者に事前に十分説明し了解を得たうえで計画に記載しているか	7	1	0	身体拘束の研修などを行い引き続き支援の充実化を図っていく
	④⑫ 食物アレルギーのある子どもについて医師の指示書に基づく対応がされているか	2	1	5	事前に有無は確認しているが、食事提供はしていない。
	④⑬ ヒヤリハット事例集を作成して事業所内で共有しているか	8	0	0	毎日の終礼時にその日のヒヤリハットをあげ、月毎でまとめ、事業所全体で共有している。

この「事業所における自己評価結果(公表)」は、事業所全体で行った自己評価です。